

宇治田原町認知症ケアパス～認知症ケアのながれ～

認知症の  
度合い

認知症の症状は、時間の経過とともに変わっていきます。主な症状をチェックしてみましょう。

気づき

軽度

中等度

重度

本人の様子  
見られる  
症状の例

もの忘れが多少出てきます。会話の中に「あれ」「それ」などが多く出てきますが、日常生活は自立しています。



もの忘れが目立ちはじめ、順序立てて物事をやり遂げることが難しくなってきます。

例えば…

- 約束を忘れてしまうことがある
  - 財布や通帳など大事なものをなくすことがある
  - 置き忘れ、しまい忘れ、探し物が増えた
  - イライラして怒りっぽくなった
  - 料理の味が変わったと言われるようになった
- ・・・など

いつ、どこで、何をしたかの出来事を忘れるようになります。自分のいる場所の見当がつかなくなることもあります。

例えば…

- 薬の管理ができなくなる
  - 日にち、曜日、季節感がわからにくくなる
  - ガスの消し忘れや、鍋を焦がすことが増えた
  - イライラして怒りっぽくなった
  - 毎日の入浴を忘れることがある
- ・・・など

最近の事だけでなく、古い記憶も曖昧になってきます。身近な人も忘れてしまうこともあります。

例えば…

- 近所でも道に迷ってしまう
  - トイレの場所がわからなくなる
  - 家族がわからなくなる
  - 入浴することを嫌がる
  - 食べたことを忘れる
  - トイレの失敗が増えてくる
- ・・・など

ご家族や  
身近な方へ

- 本人の役割を作りましょう。
- 会う機会を増やしましょう。
- 介護予防教室や町内会、サロンなどに参加し、人との交流を大切にしましょう。



- いつもと違った様子や困ったことがあれば専門機関に相談しましょう。本人が不安に思っていることもあります。

- 認知症という病気や介護について勉強しましょう。対応の仕方によっては症状を悪化させてしまうこともあります。

- ゆっくり短い言葉で伝えるようにしましょう。

- できることに注目し、できないことを責めないようにしましょう。

- 介護に不安を感じることで増えていきます。介護の辛さ、しんどさを一人で抱え込まないように、身近な人や支援者にも理解してもらいましょう。

- 介護に戸惑う出来事が多い時期です。介護の支援者や同じ境遇の方などに相談しましょう。

- 介護保険サービスなどを利用し、負担を軽減しましょう。

- 火の始末や道に迷うなど、思いがけない事故に備え、対策を考えましょう。

- 家族の負担が増えてきます。相談しながら医療や介護サービスを上手に使いましょう。

- 急に体調を崩しやすくなります。不調を訴えることが難しくなるので、様子を観察しましょう。

- 言葉以外のサインを大切にしましょう。背中をさするなど安心感が生まれます。



どんな時でも、まずは相談からはじめましょう。認知症の人を支援する仕組みやサービスは様々です。相談しながらうまく使っていきましょう。

相談する	地域包括支援センター
	認知症初期集中支援チーム
	ケアマネジャー
	町の認知症相談会・認知症の人と家族の会
受診する	かかりつけ医・認知症疾患医療センターなど
通う場所	元活クラブ・健幸キッチン 元気はつらつ！若返り塾 おやじエクササイズ 元気アップ教室
	愛茶カフェ（認知症カフェ）
家事や介護の手助け	デイサービス・通所リハビリ ヘルパー・訪問リハビリ・訪問看護・ショートステイ・配食サービス
住まいの環境 入所する	住宅改修・福祉用具の貸与や購入 サービス付高齢者住宅・ケアハウス・有料老人ホーム・特別養護老人ホーム
みまもり	SOSネットワーク「みんなで見守りうじたわらネット」
	認知症サポーター・民生児童委員・おたっしや訪問
権利を守る	福祉サービス利用援助事業 成年後見制度